

祝 辞

徳島県知事 飯 泉 嘉 門

明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、日頃より、良質な宅地、建物の供給はもとより、県政各般にわたり格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、出口会長におかれましては、宅地建物取引業務に精励された功績により、昨年秋には、栄えある「黄綬褒章」を受章されたところであり、重ねてお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2月に発生した「チリ大地震」では、本県に14年ぶりに津波警報が発令され、本県沿岸でも実際に津波が観測されたのをはじめ、奄美大島など全国各地で記録的な集中豪雨が発生し、甚大な被害をもたらすなど、自然災害の恐さを改めて実感いたしました。

本県においては、県政の最重要課題である「安全・安心とくしま」の実現のため、様々な危機事象に備えておりますが、特に、今後30年間に60%程度の確率で発生すると言われております南海地震対策といたしまして、「南海地震発生時の死者ゼロ」を目指す「とくしま-0（ゼロ）作戦」を積極的に展開しているところでございます。

こうした中、貴協会との間で締結しております「大規模災害時における民間賃貸借住宅の媒介に関する協定書」は、被災者の住まいを速やかに確保し、いち早い生活の再建を支援するという重要な役割を担うものであり、県としても、大変心強く思っております。

一方、今年の世相を表す漢字に「暑」が選ばれるなど、統計史上、最も暑かった夏とは裏腹に、我が国の経済雇用情勢は、世界的な金融不安や15年ぶりの水準となる「急激な円高」により、「百年に一度の経済危機」が更に深刻さを増すなど、厳しい冷え込みが続いております。

こうした中、本県では、この経済危機から「一

日も早い脱出」を図るため、機動的かつ効果的な予算編成による「切れ目のない経済雇用対策」を講じるとともに、中長期的な政策課題に対しても積極果敢に取り組むべく、「徳島の強み」を活かした新成長戦略を積極的に展開して参りました。

さて、今年の干支は「辛卯（かのと・う）」、「辛」は「新」に通じ、今まで伏在していた活動エネルギーが様々な矛盾、抑圧を排除して発現する「万物の新生」を表し、「卯」は物事を切り開こうとする「陽気の衝動」であり、「茂る」こと、つまり繁茂・繁栄を意味します。

そこで、辛卯の年には「閉塞打破の激しい欲求から、将来の繁栄を求め、荒療治が事の善悪を問わず行われ、全く新たな世界が生まれる」とされております。

本年は、県政運営指針である「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」が計画期間の完了を迎えることから、手の届く未来である「十年先」を見据えた「中期プラン」を加えた新たな県政運営指針を策定し、県民の皆様に向けての「夢や希望」を実現していただけるよう、既成概念にとらわれない創意工夫を凝らした政策を、新たな手法を用いて大胆に展開して参ります。

また、「平成の新しい国づくり」を先導する「関西広域連合」という、新たな枠組みを「四国と近畿の結節点」という特性を活かしながら、積極的に活用し、徳島の更なる飛躍に繋げていきたいと考えております。

今後とも、「いけるよ！徳島（踏ん張り中）」を合言葉に、徳島の新たな未来を切り拓くため、全力で取り組んで参りますので、一層の理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、社団法人徳島県宅地建物取引業協会の今後益々の発展と、本年が皆様にとって希望に満ちあふれた年となりますことを、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。